

# 令和7年度

## 佐用町 認知症地域支援推進員活動報告

### 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 3名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

**認知症施策推進大綱と「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」と県の政策を踏まえ、**

**認知症の人ができる限り地域のより良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指して活動をしています。**

報告者氏名:押田 淳子

# 佐用町 認知症施策全体図

支援の推進	
①認知症予防・早期発見の推進	・ 認知症について普及啓発 ・ 初期支援チームの活動 等
②認知症医療体制の充実	・ 早期発見・早期対応のため郡医師会、 認知症疾患医療センターとの連携 等
③認知症地域支援ネットワークの強化	・ 保健・医療・介護・福祉等の連携体制 ・ チームオレンジの推進 等
④認知症支援・ケア人材の養成	・ 権利擁護についての相談支援 等
⑤若年性認知症対策の推進	・ 若年性認知症の理解促進を図る取り組み 支援 等

## 佐用町における認知症高齢者等 見守り・SOSネットワーク事業について

平成28年より事業実施。認知症などの病気により行方不明になるおそれのある高齢者などに対し、関係機関と連携して速やかにが発見・保護するためためのネットワークを展開している。

### 【令和7年度登録者数】

新規登録者数は6名。登録者数は、のべ51名

施設入所や入院、死亡等の理由により実人員は12名

## 認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業 情報伝達模擬訓練について

行方が分からなくなるなどの緊急事態がおきたとき、関係機関や地域の方々と協力して捜索を実施。その際、あらかじめ本人の身体的特徴や連絡先、写真などの情報を登録しておき、初動を早くすることで発見までの時間を短くする。

さらに、情報の伝達をすばやく行えるように、令和元年より「情報伝達模擬訓練」を年に1度実施している。

# 認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業 情報伝達模擬訓練について ①方法

・協力機関は89事業所。（1事業所は参加できず）事前に訓練の趣旨、時間帯などの案内を送り、参加の有無・参加方法（メール・ファックス）の確認を行う。

・訓練当日、それぞれの方法で連絡票を送信し、到着時間、代表者名、連絡先変更の有無等や感想・意見などを添えて返信をしてもらう。

返信がない事業所には、電話で確認を行う。

# 認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業 情報伝達模擬訓練について ②結果

メール : 62事業所 返信数37 返信なし25  
返信率59.7% (R6 80.3%)

ファックス : 27事業所 返信数25 返信なし2  
返信率92.6% (R6 88.9%)

メール・ファックス返信合計 : 62事業所 返信率69.7%  
(R6 82.9%)

## 認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業 情報伝達模擬訓練について ③考察

- ・返信がなかった事業所も、電話連絡を行うと事業には協力的であった。
- ・メールの返信率は昨年より大きく下回った。他のメールに紛れてしまわないように、送る際の件名を統一したり、「重要」などと印象づける必要がある。
- ・ファックスはグループを小分けにすることでより早く情報を伝達できると考えられる。有事の際も時間差の小グループでファックスを送信するのがよい。
- ・ネットワークの強化のため、協力事業所を増やす必要がある。

## 今後について・・・

在宅で生活をしている認知症の高齢者や、その家族が安心して地域で暮らせるように「認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業」の強化に努め、また今後も協力していただける団体や事業所などを増やしていきます。

さらに認知症サポーターを増やしステップアップ講座の受講機会を増やす、さらに活動補助金を交付することで「チームオレンジ」の取り組みを推進します。